



高規格救急車が配備されます
(現在の救急車輛)

急無線のデジタル化が必要となり、多額の費用が予想されることから、新規の整備よりは費用が抑制できる既存システムの改修・増設で一元化を図ることとなりました。改修後は、消防本部1箇所通報を受信し、各消防署・分署・出張所に指令できる体制を整えるものです。

また、一元化と合わせて、携帯電話からの119番通報者の位置などがわかるシステムも新たに導入し、的確な災害発生地点の把握や現場到着時間の短縮ができるものとなります。

次に消防力整備総合計画であります、本計画は、平成19年度から23年度までの5カ年の計画で、消防車や消防機材の配備など消防力の強化に向けたものとなっています。その中で、高規格救急車については、未配置の地域を優先し、平成19年度中には、当藤里分署に配備される予定となっておりますので、申し添えます。

◆ 秋田県消防協会能代市山本郡 支部事務局の移転について

消防団の表彰事務などを取り扱っています(財)秋田県消防協会能代市山本郡支部の事務については、今まで山本地域振興局総務企画部内で執務していましたが、秋田県の事務事業の見直しにより、新年度から地域振興局では所管できない旨の通告がありました。

その後、関係機関において検討会議を重ねた結果、4月1日からは能代山本広域市町村圏組合消防本部内に事務局を移転することになりました。

なお、事務局移転に伴う経費並びに今後の事務局運営費については、関係する能代市と3町の負担となります。

◆ 平成18年度各事業の進捗状況について

今年度予定していましたがソフト事業については順調に進み、5月末の出納閉鎖に向けての清算を待つばかりとなっています。また、エコツーリズム推進事業は、最後の詰めとして、白神地区エコツーリズム推進合同協議会を3月22日に西目屋村で開催することとしています。

次はハード事業の進捗状況について、地域情報通信基盤整備の光ファイバ工事は、2月20日に完成検査を終え、今月のサービス提供を待つばかりとなっています。また、軽四輪消防車購入事業では、町民の安心と安全確保のため、3台のボ

ンプ付消防自動車を購入して、各消防団に配置し、消防力の強化を図ったところ

です。

林道や作業道開設事業・造林事業等、

林業関係の工事はすべて完成しています。

また、下水道関係事業では、現在、矢坂

地区で公共下水道管渠工事を進めています。

が、順調に進み、残りは舗装復旧工事

のみとなり期限内の竣工を目指していま

す。なお、院内岱地区ため池災害復旧工

事については、当初から想定されていま

した災害箇所が査定時にカットされて工

事を進めた結果、工事中に被災箇所が判

明し、15mの増工となっています。

全体的な事業費は減額になったものの

工事量が増えたため、年度内の完成が見

込めないことから、翌年度への繰越しと

なりましたので、ご理解の程お願い申

上げます。

◆ 米田保育園の閉園について

地域と共に長い歴史を積み重ねてきた米田保育園ではありますが、少人数による保育環境を考えるにあたり、今年度をもって閉園することとなり、その閉園式を3月23日に挙行する運びとなりました。4月1日からは藤里幼稚園に通園することとなります。

なお、町教育委員会で米田小学校の統合は、平成20年4月1日と決定しています。統合に向けては、議会の議決が必要であり、今後皆さまのご意見をいただきながら、具体的な作業を進めて参りたいと考えていますので、よろしくお願ひ申し上げます。

歳出

【予算規模：29億2,500万円】

(単位：万円)

目的別

性質別

